

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-20402

(43) 公開日 平成7年(1995)4月11日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
F 1 6 B	5/02	F		
	13/14	A		
	43/00	Z		

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願平5-54716

(22) 出願日 平成5年(1993)9月14日

(71) 出願人 000151597

株式会社東郷製作所

愛知県愛知郡東郷町大字春木字蛭池1番地

(72) 考案者 秋元 真介

愛知県愛知郡東郷町大字春木字蛭池1番地

株式会社東郷製作所内

(72) 考案者 落合 富美夫

愛知県愛知郡東郷町大字春木字蛭池1番地

株式会社東郷製作所内

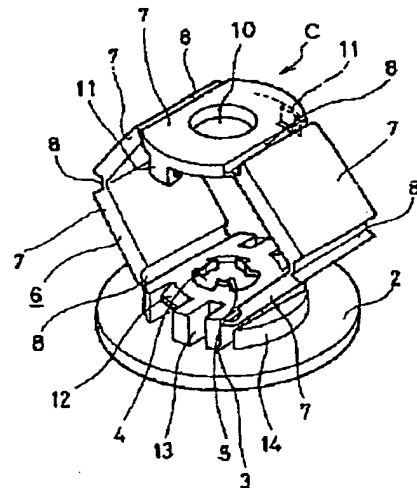
(74) 代理人 弁理士 ▲高▼木 芳之 (外3名)

(54) 【考案の名称】 スペーサクリップ

(57) 【要約】

【目的】 コストの低減と組み付け作業性を向上させる。

【構成】 軟質シート材Sに貫通されている装着孔1より大径の基盤2と、この基盤2の上面に折り畳み変形可能にかつ一体に立設されたパンタグラフ状の係着帯6とからスペーサクリップCを構成する。係着帯6は起立時には装着孔1へ貫挿可能であるが、左右対称に折り畳んだときには爪片11と係止縁12との係合により、折り畳み状態に保持され、軟質シート材Sを基盤2と係着帯6との間で挟持し、これによってスペーサクリップCが軟質シート材Sに取り付けられる。



5…係止め爪

8…係 帯

4、10…通し孔

11…爪片 (保持手段)

12…係止縁 (保持手段)

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 装着孔を有する軟質シート材に装着されるスベサクリップであって、
軟質シート材の一方の面に当接し装着孔より大きめに形成された基盤と、この基盤から折畳み変形可能なループ状をなして立設された係着帯とからなり、
この係着帯は自然状態では装着孔へ貫通して差し込み可能に形成され、かつ全体を折り畳んだときにはこの折り畳み状態を保持する保持手段により軟質シート材が前記基盤と共に挟持される構成となっていることを特徴とするスベサクリップ。

【請求項2】 前記基盤および係着帯の頂面には軟質シート材によって被装されるボディ面から突出した取付け軸を貫挿させるための通し孔が開くとともに、前記基盤側の通し孔の孔縁には取付け軸に対して係合可能な仮止め爪が形成されることを特徴とする請求項1記載のスベサクリップ。

【図面の簡単な説明】

【図1】 第1実施例に係るスベサクリップの斜視図

【図2】 同平面図

【図3】 同正面図

【図4】 スタッドボルトと仮止め爪との係合状況を示す断面図

【図5】 スベサクリップによる組み付け手順を示す断面図

【図6】 第2実施例に係るスベサクリップの斜視図

【図7】 第3実施例に係るスベサクリップの斜視図

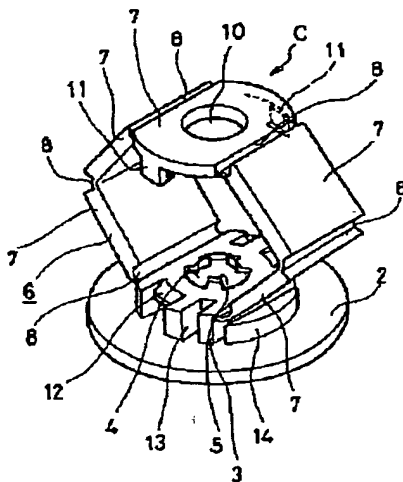
【図8】 従来のスベサクリップの分解斜視図

【図9】 従来のスベサクリップによる装着状態を示す断面図

【符号の説明】

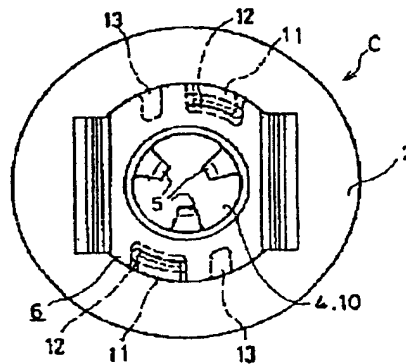
- 1…装着孔
- 5…仮止め爪
- 6…係着帯
- 4、10…通し孔
- 11…爪片（保持手段）
- 12…係止縁（保持手段）
- S…軟質シート材

【図1】

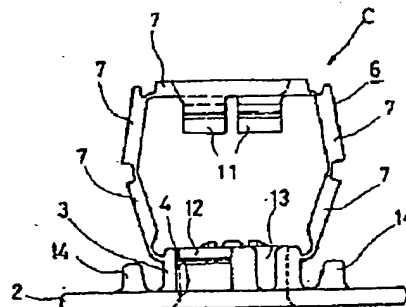


- 5…仮止め爪
- 6…係着帯
- 4、10…通し孔
- 11…爪片（保持手段）
- 12…係止縁（保持手段）

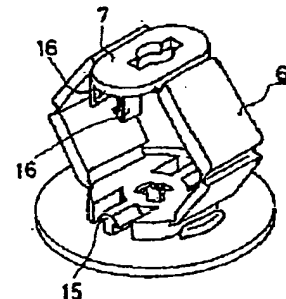
【図2】



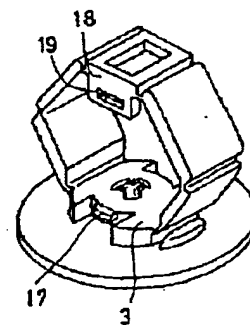
【図3】



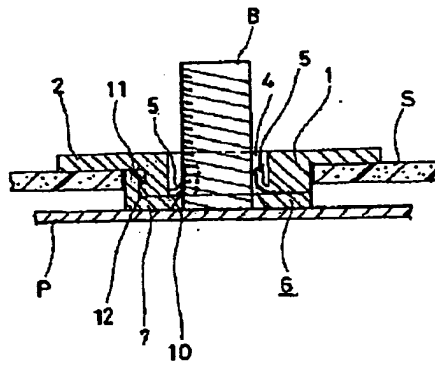
【図6】



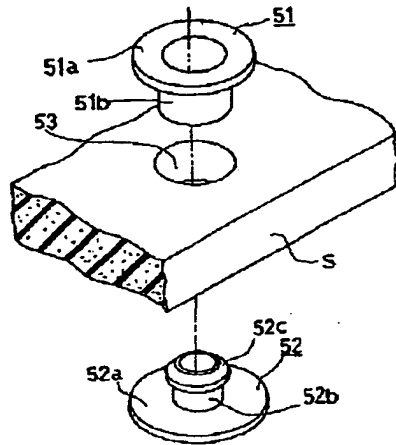
【図7】



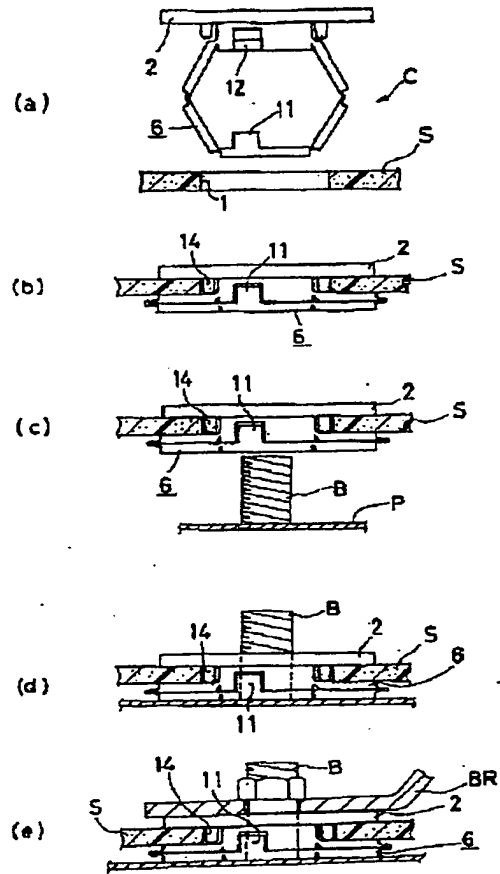
【図4】



【図8】



【図5】



【図9】

